

1 単元名 「未来をひらく微生物」(光村図書)

2 目標

- リーフレットの作成に関心をもち、文章を読もうとする。(国語への関心・意欲・態度)
- 文章の中心的な部分と付加的な部分を読み分け、要旨をとらえることができる。(読む能力)
- 文章を読みながら、指示語や接続語に注意できる。(言語に関する知識・理解・技能)

3 指導計画(7時間扱い)

時	学習活動・内容	指導上の留意点(◎は評価)
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">リーフレットを理解しよう。</div> <p>1 様々なリーフレットを見て、これからの学習課題をつかむ。</p> <p>2 リーフレットに必要なものを理解する。</p> <p>3 全文を通読する。</p> <p>4 序論・本論・結論を考える。</p>	<p>○様々なリーフレットを見せて、リーフレットがどのようなものであるか、分かるようにする。</p> <p>○リーフレットの作成には、要点や要旨が必要で、内容をまとめていかなければならないことが理解できるようにする。</p> <p>○全文を読んで、大体的内容をつかめるようにする。</p> <p>○「初め」、「中」、「終わり」という言葉を挙げて、三つに分けられるようにする。</p> <p>◎リーフレットがどのようなものか理解し、読むことに意欲的に取り組もうとしている。(ワークシート・観察)</p>
2 3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">リーフレットを作成するために、段落の要点をとらえよう。</div> <p>1 段落の要点を付箋に書く。</p> <p>2 三段構成マップに貼る。 (個人の活動→グループで確認)</p>	<p>○段落の要点は、文を手掛かりとして、繰り返し出てくる言葉に着目させながら、とらえていくようにする。</p> <p>○文が長い場合は、キーワードだけを書くようにする。</p> <p>○序論の部分の要点は、全員で一緒に考えていき、確実にとらえられるようにする。</p> <p>○個人の活動の後、グループで確認し、足りない部分を補うようにする。</p> <p>◎指示語に注意し、段落の要点をとらえている。(三段構成マップ)</p> <p>◎序論・本論・結論に分けている。(三段構成マップ)</p>
4	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">リーフレットを作成するために、事実と具体例に読み分けたら、まとめたりしよう。</div> <p>1 付箋を事実と具体例に読み分ける。</p> <p>2 付箋を仲間分けして、一文にまとめる。</p>	<p>○リーフレットには段落の要点をすべて載せることができないことに気付かせ、中心的な部分と付加的な部分(事実と具体例)に読み分ける必要があることに気付かせる。</p> <p>○具体例は、文章中で「例えば」や「例」という言葉で表されていることに気付かせ、読み分けられるようにする。</p> <p>○読み分けるだけでなく、同じ言葉同士で内容をまとめることにも気付かせる。</p> <p>○仲間分けをする時には、同じ言葉同士を手掛かりに考えるようにする。</p>

		<p>○三段構成マップは、全体が見られるよさがあることに気付かせる。</p> <p>◎中心的部分と付加的な部分（事実と具体例）を読み分けたり、同じ言葉同士でまとめたりしている。（三段構成マップ）</p>
5 本 時	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">リーフレットを作成するために、要旨をとらえよう。</div> <p>1 読み分けたもの、一文にまとめたもの、結論部分と、文章全体から要旨をとらえる。</p> <p>2 個人でとらえた要旨をグループで話し合い、まとめる。</p>	<p>○要旨は50字程度、序論・本論・結論の言葉、前時の学習内容を使うという条件で、まとめるようにする。</p> <p>○個人でとらえた要旨をグループ内で検討する時は、共通に使っている言葉、違って言葉に着目して、足りない言葉を補ったり、余計な言葉を省いたりしてまとめていくようにする。</p> <p>◎要旨をとらえている。（三段構成マップ）</p>
6 7	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-bottom: 10px;">要旨をキャッチコピー化して、リーフレットを作成しよう。</div> <p>1 リーフレットへの効果的な表現の仕方を理解する。 （体言止めにする、箇条書きにする、絵や図を入れるなど）</p> <p>2 三段構成マップを基に、再構成する。</p> <p>3 グループ内で、紹介し合う。</p>	<p>○リーフレットへの効果的なまとめ方については、生徒から意見を出して気付かせるようにする。</p> <p>○三段構成マップと同じ配置であるが、横書きにして書くようにする。</p> <p>○キャッチコピーは、三段構成マップに書かれた要旨から外れないようにする。</p> <p>○読んだ相手に内容が伝わるように作成することにも注意するようにする。</p> <p>○グループ内で紹介の際は、初めにキャッチコピーを言うようにする。</p> <p>◎要旨をキャッチコピー化し、リーフレットへ表現している。（リーフレット）</p>

4 本時の学習

(1) 目標

- 要旨をとらえることができる。

(2) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点・評価
<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <p>リーフレットを作成するために、要旨をとらえよう。</p> <p>2 要旨の意味を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 短く要点をまとめた文 ・ 筆者の言いたいことを中心 <p>3 前時までの三段構成マップを見て、文章の内容を確認する。</p> <p>（読み分けたもの）事実と具体例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「⑨生分解性プラスチックと⑩エタノールは環境問題を起こさない製品の具体例」など <p>（まとめたもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 序論部分を「微生物の働き・利用」など ・ 本論部分を「生分解性プラスチック」や「環境問題を起こさない製品」など <p>（予想される言葉）</p> <p>微生物 環境問題 発酵 分解 汚染 地球の掃除 生分解性プラスチック つながり 活用 共生 未来をひらく技術</p> <p>（要旨の例）</p> <p>微生物は、環境問題の解決に役立っているが、地球で暮らす仲間として人間と共生していけば、未来をひらいてくれる。 (53字)</p>	<p>○学習の手引きを使って、学習課題を確認し、本時の学習の流れをつかませたい。</p> <p>○要旨の意味は、三段構成マップに書いたものを見て確認するとともに、教師も説明を加える。</p> <p>○リーフレット作成のため、要旨をとらえる意識付けをする。</p> <p>○読み分けたもの、まとめたものを個人で見直し、文章の内容を確認する。</p> <p>○内容や要旨をとらえる参考になるように○×クイズをする。</p> <p>①微生物の中には、人間の生活に役立つものもある。(○)</p> <p>②微生物を利用した環境問題を起こさない製品は、生分解性プラスチックとエタノールである。(○)</p> <p>③汚染された環境を微生物の力で元に戻すことはできない。(×)</p> <p>④微生物は地球の掃除をしてくれている。(○)</p> <p>⑤微生物と人間が共生していけば、微生物は更に役に立つ。(○)</p> <p>要旨をとらえている。(三段構成マップ・話し合い)</p> <p>○学習が進まない生徒には、序論・本論・結論のどの言葉を使ったらよいか考えさせたり、繰り返し出てきた言葉を使ったりするように助言する。</p> <p>○要旨が早くとらえられた生徒には、リーフレットに使うキャッチコピーを考えさせておく。(ヒントカードの提示)</p> <p>○要旨をとらえる際は、具体的な物の名前は使わないことに気付けたい。</p>
<p>5 グループで話し合い、個人でとらえた要旨を見直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共通して使っている言葉（赤線） ・ 違う言葉（青線） <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">要旨の見直し</p> <p>6 授業を振り返り、次時の学習課題を確認する。</p>	<p>○共通して使っている言葉、違う言葉に着目させる。</p> <p>○特に、違う言葉について話し合い、足りない言葉を補ったり、余計な言葉を省いたりしていく。</p> <p>○違う言葉を選んだときには、理由が言えるようにする。</p> <p>○話し合いに消極的な生徒には声を掛け、参加できるようにする。</p> <p>○学習の手引きの中の、授業を振り返っての欄に記入し、次時は、リーフレットを作成することを確認する。</p>